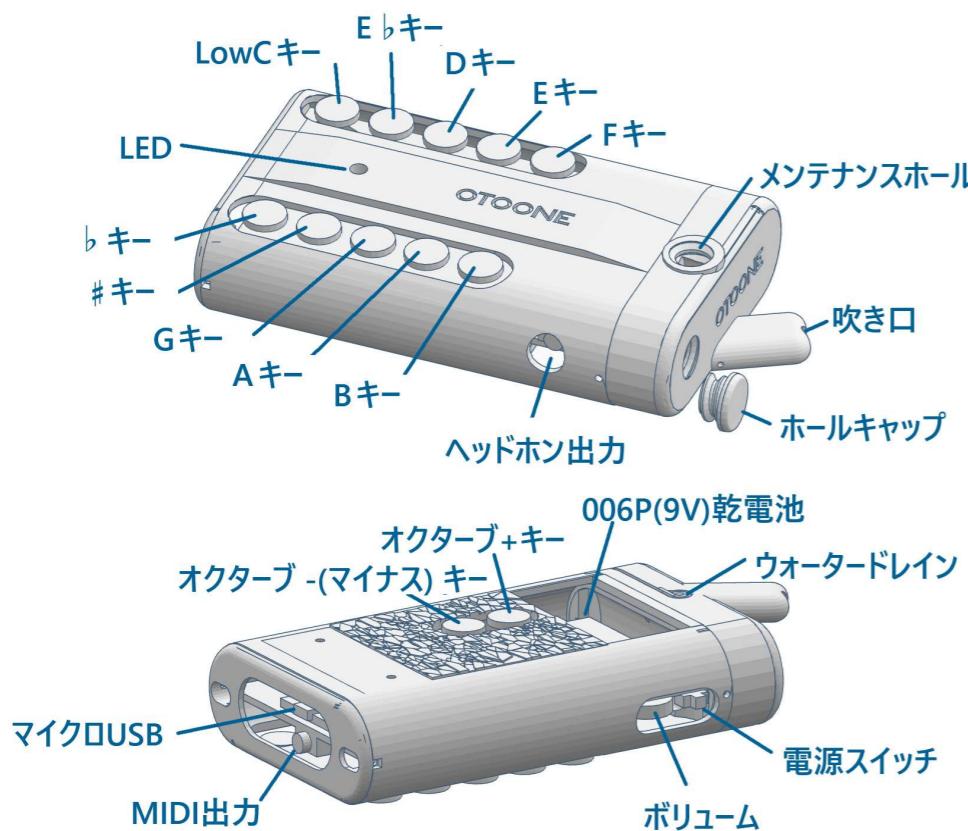


AFUUE 取扱説明書

各部名称



運指表

AFUUE Fingering Chart

Legend:

- # key
- ♭ key
- Octave- key
- Octave+ key

電源が入っている状態で、#キーと♭キーを押しながら、下記の操作ができます。

# + ♯ + Fキー	音色変更
# + ♯ + Eキー または Dキー	トランスポーズ+/-
# + ♯ + Bキー	メトロノーム ON/OFF
# + ♯ + Aキー または Gキー	メトロノーム テンポ+/-

起動時に #キーと ♭キーを同時に押しておくと、MIDI 演奏モードになります。
このモードではスピーカーやヘッドホン端子から音は出ません。

詳しい取り扱い説明は <https://otoonedev.wixsite.com/afuue> の取扱説明書のページを参照ください。
右の QR コードからもジャンプできます。



AFUUE パーツリスト (Ver1.6B版)

梱包時にチェックマークを入れながら漏れがない事を確認しておりますが、お客様にて部品を再度確認いただき、
チェックマークをつけてくださると幸いです。不足している部品がありましたら otoone.dev@gmail.com までご連絡ください。

ボディ	基板	マウスピース、ホールキャップ	キー組み立てセット x12
<input type="checkbox"/> 梱包時 <input type="checkbox"/> お客様			
キースイッチ x12	ESP32-DevKit-C	スピーカー	バッテリーホルダー
<input type="checkbox"/> 梱包時 <input type="checkbox"/> お客様			
気圧センサー・モジュール	PAM8012 アンプ	L7805 三端子レギュレータ	オーディオジャック (黒・緑)
<input type="checkbox"/> 梱包時 <input type="checkbox"/> お客様			
定電流 LED	連結ソケット (PAM8012用)	ダイヤル可変抵抗	ショットキーバリアダイオード
<input type="checkbox"/> 梱包時 <input type="checkbox"/> お客様			
抵抗 (47Ω) x2	抵抗 (510Ω)	HYコネクタ 4ピン アングル	LEDベース(黒)、LEDカバー(透明)
<input type="checkbox"/> 梱包時 <input type="checkbox"/> お客様			
スイッチ	M2 ネジ x2		
<input type="checkbox"/> 梱包時 <input type="checkbox"/> お客様	<input type="checkbox"/> 梱包時 <input type="checkbox"/> お客様		

キースイッチの足は曲がりやすいものなので、曲がっていたらそっと伸ばして使用してください。

ESP32-DevKit-C はソフトウェア書き込みのために開封しております。足が傾いてハンダ付けされていて入りにくい場合はペンチ等で矯正してください。
部品が壊れている、取付けできない、等ありましたら写真等を添えて otoone.dev@gmail.com まで連絡ください。

AFUUE 組み立て手順 (Ver1.6B 簡易版)

詳しい組み立て方は <https://otoone.dev.wixsite.com/afuee> から「組み立て手順」を参照してください。

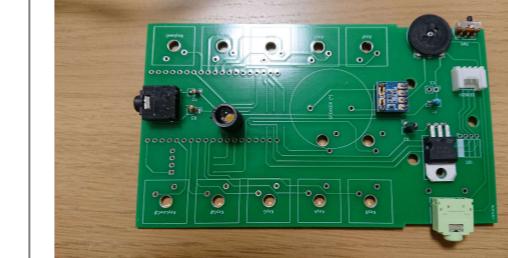
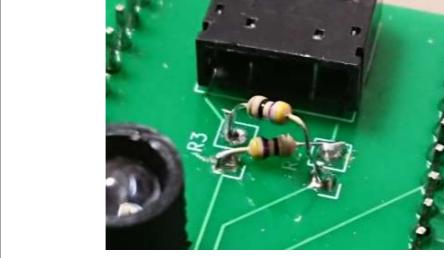
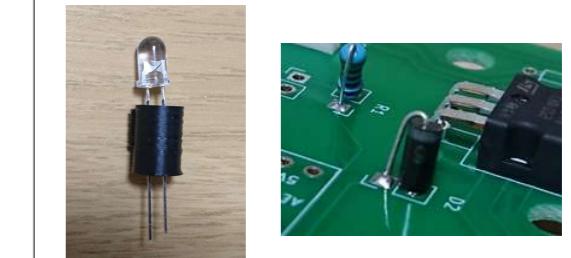
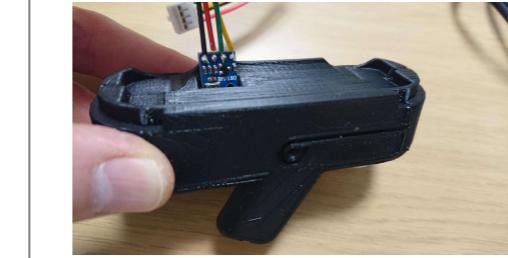
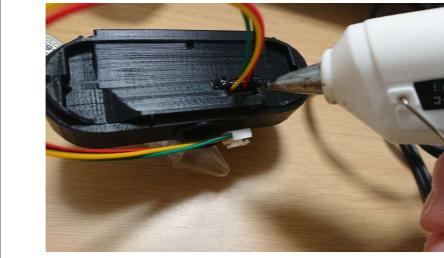
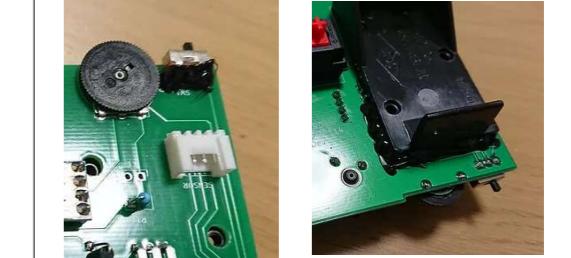
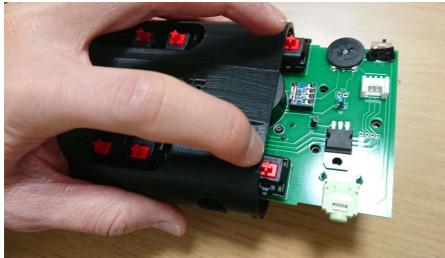
右下の QR コードからでも組み立て手順ページにジャンプできます。

不明な点ありましたら上記リンクの「Forum」に書き込みいただか、otoone.dev@gmail.com まで連絡ください。

作業に必要な時間: 約半日

必要な工具など:

ハンダごて、ニッパー、グルーガン、プラモデル用などの接着剤、精密ドライバー、006P(9V)乾電池

(1) まずは足りない部品がないか、チェックシートで確認をお願いします。	(2) 最初にキーを接着し組み立てます。十分に時間が経ったら静音リングをつけます。	(3) 基板表面を写真のような状態に実装します。(*)が書かれている部品は実装しません。	(3-1) Ver1.6B では基板にミスがあるため、47Ω 抵抗を写真のようにクロスしてつけます。	(3-2) LED は黒いコネクタ側が長い足になるように、ダイオードは写真の向きでつけます。
				
(4) 表面の部品の足を短く切ってから、裏面を写真のような状態に実装します。	(5) 表面の残りの部品を実装します。スピーカーは極性があるので注意してください。	(6) 気圧センサーモジュールをマウスピースに写真の方向で挿入します。	(6-1) モジュールを奥まで入れたら、グルーガンで(高く盛らないように)隙間を埋めます。	(7) グルーガンで電源スイッチと、バッテリーホルダーを固定します。
				
(8) 基板をボディに挿入します。キースイッチは表も裏も押しながら入れます。	(8-1) 途中で気圧センサーモジュールのコネクタを基板に接続します。	(9) マウスピースをボディに嵌めて M2 ネジで固定します。	(10) LEDカバーをつけてます。入りにくい場合、削ってください。緩い場合接着してください。	(11) 厚みの薄い方のキーを表面のキースイッチに方向に気をつけて押し込みます。
				
(11-1) 厚みの厚い方のキーを裏面のキースイッチに押し込みます。	(12) 組み立ては完成です。ホールキャップを黒に塗ると見た目がより良くなります。	(13) 電源はOFF(吹き口側)にし、ボリュームも小さく(キースイッチ側)しておきます。	(14) 006P(9V)乾電池をバッテリーホルダーに入れます。少し固いですが嵌め込みます。	(15) 電源を入れて下記のように構えて吹いてください。運指は運指表を御覧ください。
				

詳しい組み立て方はこちらからどうぞ →

